

# 上総小櫃地区20歳のつどい開催

～新たな出会いを経験し、  
コロナ禍を乗り越えて～



第239号

編集・発行  
〒292-0451 ☎35-2488  
君津市末吉128  
小櫃公民館

小櫃の人口

男 2,201人(-9)  
女 2,160人(-9)  
計 4,361人(-18)  
世帯数 2,026戸(-5)  
(令和8年1月末(令和7年10月末比較))

1月11日(日)、上総小櫃地区20歳のつどいが上総小櫃中学校で開催されました。  
学校統合やコロナ禍を経験してきた世代が、20歳の節目を迎えました。これまで小櫃・久留里・松丘・亀山と地区ごとに行われてきたつどいも、今年から合同で開催されました。



## 上総小櫃地区20歳のつどい



### 想いを胸に迎えた当日

実行委員会企画「ひとことメッセージ」では、現在頑張っていることや将来の夢・目標、親や支えてくれている方への感謝などを、一人ひとりが堂々と語りました。

実行委員長を務めた牧野心奈さんは、あいさつの中で、「3年生で中学校が統合し、それぞれ異なる背景を持っていたからこそ、お互いを思い一致団結できた。これからは、支えられる側から支える側へ、自分自身も、人に寄り添い命を救う看護師になりたい」と大人としての決意を凛とした姿で語ってくれました。

### 自分たちの手でつくった20歳のつどい

昨年8月に実行委員会を結成し、つどい当日に向けて会議を重ねてきました。恩師の招待や、各地区で行ってきた「記念品」づくり、「実行委員会企画」のアイデアを持ち寄って、つどいの内容をメンバー全員でつくり上げてきました。

記念文集は、実行委員の手により、来賓・恩師・20歳の皆さんの想いが詰まった一冊に仕上がりました。当日まで、つどいをスムーズに運営するための準備を綿密に重ね、迎えた本番は、和やかな中にも、一人ひとりの決意が伝わってくる心に残るつどいとなりました。20歳を迎えた皆さんの今後の活躍と幸せを願っています。



### 実行委員の皆さんインタビュー

質問 ①20歳になつての抱負やこれからの夢を教えてください  
内容 ②自分のふるさとの好きなところや想いを教えてください

#### 海保 衣那

①私は美容師になることが夢です。たくさんの方を笑顔にできる美容師になれるよう、精一杯頑張りたいと思います。

②ふるさは、とても温かくて優しい場所です。これまで支えてくださった地域の方々への感謝を忘れず、これからは地域に恩返しができる大人になりたいです。

#### 子安 創也

①あと2年は学生なので、今学校で学んでいることをより深めるとともに、自分の興味を広げ、さまざまな経験を通して、将来は社会に貢献できる人間になりたいと思っています。

②豊かな自然や美味しい水、さまざまな歴史があるところ、そして地域の人の温かさがあるところが好きです。

#### 子安 陽都

①私は土木技術者として、日本のインフラ整備を通してこれからの日本の未来をつくらせていきたいです。

②自然が豊かで、すぐ身近に自然を感じられるところが好きです。また、子どもの頃から地域の方々の交流があるところも良いと思います。

#### 齊藤 日詩

①舞台を中心に活動する役者になることが夢です。なかなか叶えるのが難しい夢ですが、見に来てくれた方々の背中を押すきっかけをつくれる役者になれるよう、頑張りたいと思います。

②地域の人たちがお互いを助け合い、暮らしを支えている、この温かい環境が、これからも変わらず続いてほしいと思います。

#### 篠田 一晴

①体育教師になることが夢です。子どもたちに、スポーツをすることの大切さや楽しさを教えたいと思っています。

②自然が豊かで、のびのびと暮らせるのが好きです。また、ふるさと祭りや地域のイベントが多く、学年の違う子同士の仲が良く、仲の良いところも魅力だと思います。

#### 前田 心咲

①アニメやゲームを通して、人の心に響く表現を届けたいと考えています。自分の「好き」を信じて挑戦を続け、誰かの背中を押す力になりたいです。

②そうした想いを大切にしながら、育ってきたこの地域が、これからも活気に満ちた場所であり続けてほしいと願っています。

#### 牧野 心奈

①20歳を迎え、夢である看護師になるために、これからも日々努力を積み重ねていきたいと思っています。さまざまなことに積極的にチャレンジし、多くの経験を通して成長していきたいです。

②明るく温かい人が多いところが好きです。「おかえり」と優しく挨拶してくれたことが、とても印象に残っています。



実行委員の皆さん：右から、子安 創也、子安 陽都、篠田 一晴、牧野 心奈、海保 衣那、齊藤 日詩、前田 心咲

### フォト特集

晴れの日のひとコマを写真でご紹介します。



10歳の自分からの手紙を手にする皆さん



自分たちで作りに上げた記念文集の表紙イラスト 佐久間 悠輔 / 題字 齊藤 日詩

### 小櫃の未来のために 地域づくり協議会に 参加しませんか

キックオフから1年が経過した地域づくり協議会設立準備会。団体設立に向けて、活動内容や組織体制についての話し合いが進められています。今回は、運営委員として活躍している篠田徹さん(三田)にインタビューしました。



すでに参加していた後輩から誘われ、参加しました。もともと将来の小櫃について関心があったので、小櫃の将来像を話し合う機会に参加できたことは良かったです。話し合いに参加することで、小櫃の将来像がより明確になり、活動の方向性も定まってくると思います。皆さんもぜひご参加ください！

詳しい内容や、今後の日程は、こちらからご確認ください！



地域づくり協議会をきっかけに集まったメンバーによるOB2人会では、ゴルフの親睦大会も開催しています。次回は5月中旬予定です。

### 2026年 年女にインタビュー

小櫃小学校の元気な12歳、2人の女の子に今年の抱負を教えてくださいました。今年も馬が大地を力強く駆け抜けるように、新しいことにも挑戦して、のびのびと前に進み、大きく成長できる1年になりますように！



お音さん  
仲野 希音さん  
(長谷川)

今年の4月で6年生になり、小学校生活最後の1年を迎えます。私は自分の好きなピアノと書道に力を入れ、目標に向けてコツコツと練習を積み重ねていきたいです。今年もウマ年。何事も「ウマくいく!!」と信じて、全力でがんばりたいと思います。



まほさん  
山口 真穂さん  
(戸崎)

私は、今年から6年生になるので、新しく入ってくる1年生のお手本になれるようにしたいです。また、走る練習をして、学校のマラソン大会でトップ3に入れるようにがんばりたいと思います。最後の小学校生活なので、いろいろなことにチャレンジして、たくさん思い出をつくりたいです。

### 小櫃の動き

#### イルミネーションの設置

◆小櫃公民館  
君津商工会議所小櫃地区に、今年度から設置されている公民館のイルミネーション。今年は、公民館玄関周辺や窓、生け垣など、昨年よりもさらに華やかに飾りつけられ、来館者の目を惹きつけていました。



◆小櫃駅前  
久留里線輸送力を促進する会・小櫃地区自治会連絡協議会の協力のもと、今年も小櫃駅前にイルミネーションが設置されました。



#### 継続は力なり

◆歩行距離 地球1周分達成  
おびつだより第226号(令和4年12月15日発行)で「おびつび」としてご紹介した喜多見徳治さん(90歳)。74歳から始めたウォーキングの総延長距離が、なんと地球1周分(約4万km)を達成したそうです。

日々の積み重ねでの大きな達成、本当におめでとうございます。これからも元気に歩き続けてください。

### 子どもたちの笑顔のそばに 青少年相談員の活動紹介

◆子どもキャンプ7月19・20日  
小学4年生から6年生までの22名が参加し、海水浴やスイカ割り、カレー作り、キャンプファイヤーなど、2日間たっぷり楽しめました。

◆子どもキャンプ7月19・20日  
小学4年生から6年生までの22名が参加し、海水浴やスイカ割り、カレー作り、キャンプファイヤーなど、2日間たっぷり楽しめました。

◆小櫃地区では現在12名の相談員が、地域の子どものための健やかな成長を支えるためさまざまな活動に取り組んでいます。ここでは、この一年間の主な活動をご紹介します。

◆かるた大会&文化祭模擬店  
小櫃地区文化祭の1日目は、令和版「君津ふるさとかるた」を使った君津ふるさとかるた大会の小櫃地区予選大会

### ご自宅に、ギョール指人形は眠っていませんか?

ギニョールとは、木彫りの首と二本の手に布で作った胴体をつけたものを三本の指で操る指人形のことです。昭和初期、箕輪の喜多見勝次郎宅の庭に指人形の工房が開かれ、小学校や公会堂では人形劇が上演されていました。小櫃出身の彫刻家、安西順一も制作に携わっていたそうです。



ギニョール  
1924(大正13)年  
画像提供: 上田市立美術館

小櫃公民館では、久留里城址資料館と連携し、ギニョールに関する事業を開催予定です。ご自宅に指人形をお持ちの方は、公民館までお知らせください。



タッチザナンバーに挑戦!

◆小櫃廻戦 1月24日  
小櫃廻戦は、公民館を全館使い、さまざまなゲームに挑戦するイベントです。相談員の皆さんは、それぞれの担当に分かれて運営を行いました。高得点の人への特別な景品や参加者に!

◆小櫃廻戦 1月24日  
小櫃廻戦は、公民館を全館使い、さまざまなゲームに挑戦するイベントです。相談員の皆さんは、それぞれの担当に分かれて運営を行いました。高得点の人への特別な景品や参加者に!

### 2/21 東日本大震災・原子力災害 ふくしま語り部派遣事業

小櫃公民館と小櫃地区社会福祉協議会の共催で実施。「双葉町語り部の会」に所属する國分信一氏をお招きし、東日本大震災・原子力災害について、当事者としての体験や避難生活のご苦労、そして現在の福島の実状や課題についてお話しいただきました。



講話では、避難所ごとに対応する災害の種類が異なるため、事前に確認しておくことの大切さが伝えられました。あわせて、津波の場合は、山などの高い場所へ、車ではなく徒歩で避難することの重要性についてもお話がありました。

また、防災の原点は「互助」にあり、その第一歩は、近所に誰が住んでいるかを知ら、「おはようございます」と声をかけ合うことか

### 編集後記

大好きな桜の季節がやってきました。編集委員になりました。年が過ぎようとしています。あまりお役に立てなかったかもしれませんが、新しいことに挑戦できたことは、とてもうれしい経験でした。皆さんもこの春から何かひとつ始めてみませんか。新しい景色が見えてくるかもしれません。いくつになってもワクワクしますね!! おびつだより編集委員、来年度も頑張ります。よろしくお祈りします。(穂)